

プレスリリース

2025年  
9月25日



関係各位  
全2枚

## コレクション展(常設展示室)展示替えのお知らせ

コレクション展では、「長崎ゆかりの美術」と「スペイン美術」を中心とする当館の収蔵品(約9,000点)の魅力、さまざまな切り口によって多角的に紹介しています。

### 第1・2室「2024年度新収蔵作品」

会期 | 2025年10月25日(土) ~ 2026年1月12日(月・祝)

本展は当館が新たに収蔵した作品群を紹介する展覧会です。2024年度には、長崎ゆかりの日本画家である栗原玉葉や小林観爾、今坂雪光、20世紀後半に長崎を度々訪れて制作した洋画家の野口彌太郎らの作品、さらには当館のスペイン美術コレクションの礎である須磨コレクションに含まれる絵画群など多彩な作例の収集が実現しました。本展ではそれらに関連する既存の収蔵品も合わせて展示します。当館コレクションのさらなる広がりをご覧ください。

長崎ゆかりの美人画の名手が手掛けた優品



①栗原玉葉《春のゆめ(愁春)》1920年、絹本着色、長崎県美術館蔵

観想と独創による平戸風景



②尾花成春《平戸》1996年、ミクストメディア・板、尾花基氏寄贈、長崎県美術館蔵

平戸の根獅子で見た風景に着想を得て



③尾花成春《海の人》1998年、ミクストメディア・板、尾花基氏寄贈、長崎県美術館蔵

当館スペイン美術コレクションの新たな仲間



④オクタビオ・ピアンキ・サンチェス《風景》油彩・カンヴァス、薮亀己美子氏寄贈、長崎県美術館蔵

滞欧期に開花した躍動感ある筆致



⑤野口彌太郎《7月14日祭》1931年、油彩・カンヴァス、長崎県美術館蔵

### ●広報用画像のご提供について

本リリースに掲載している①～⑤の画像を広報用にご用意しています。ご利用を希望される場合は、媒体名、発行日、ご担当者名、連絡先、ご希望の画像を記載の上、長崎県美術館広報宛にメール (info-k@nagasaki-museum.jp) にてご連絡ください。画像使用の際は以下にご注意ください。

- ①画像の使用は、本展をご紹介していただける場合に限ります。
- ②掲載にあたっては事前校正が必要です。
- ③画像のキャプションを必ず表記してください。
- ④画像のトリミングや文字載せは不可。
- ⑤二次使用禁止。使用後は速やかに画像データを破棄ください。
- ⑥掲載終了後は、掲載出版物を広報宛にお送りください。

### 「コレクション展（常設展示室）」概要

時 間 | 10:00～20:00（最終入場は 19:30）

休館日 | 毎月第2・第4月曜日（祝日の場合は火曜日）

入場料 | 一般 420（340）円、大学生・70歳以上 310（250）円、小中高生 210（170）円

◎（ ）内は 15 名以上の団体料金。◎県内在住の小・中学生は無料。

◎学校行事の一環として、県内の小・中・高・特別支援学校生が利用する場合は、引率の教員を含め無料。

◎身体障害者手帳等提示者及び介護者 1 名は無料。※詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください

長崎県美術館（公益財団法人長崎ミュージアム振興財団）広報担当／井上  
 〒850-0862 長崎市出島町 2 番 1 号 Tel.095-833-2110 Fax.095-833-2115  
<https://www.nagasaki-museum.jp> e-mail:info-k@nagasaki-museum.jp